

6 ある生徒が、戦争をテーマにレポートを作成した。これを読んで、後にある各問いに答えよ。

### レポート

夏休み前に、先生からⅠの写真を見せていただいた。1940年に行われた、小学生の行事での様子だということだ。Ⅰの写真からは、1940年時点で教育に A ことが分かる。このことから戦時中の生活に関心を持ったところ、夏休みに祖父母の家で、陶器で出来たコンロやアイロンを見つけた。同じ戦争に関係しているということなので、調べてみることにした。

今日私たちが目にするコンロやアイロンは、金属でできている。なぜ陶器のアイロンを使っていたのだろうか。調査にあたって、先生から同じ時期の様子を示した図版を紹介していただいた。日本史の授業では、総力戦体制をつくりあげるため、1930年代になると法律によって資源を国家が統制することが出来るようになったと習った。謎を解くヒントになりそうだ。多くの国民が兵士として出征し、様々な物資もまたそれぞれの形で戦地へ赴いたのだ。

調査をすすめたところ、興味深い写真Ⅱに出会った。Ⅱは、都市から地方へ向う列車を写したものだ。よく見ると、Ⅱの写真は B の国内の状況を映し出した写真だと分かる。

Ⅰ





問 1 

A
---

B
---

 に当てはまる語句の  
 組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 

27
----

 。

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| ① A—軍国主義が影響を与えていた | B—空襲から逃れる学童疎開であり、Iより後 |
| ② A—軍国主義が影響を与えていた | B—人手不足を補う勤労奉仕であり、Iより前 |
| ③ A—まだ戦争の影響は見られない | B—空襲から逃れる学童疎開であり、Iより後 |
| ④ A—まだ戦争の影響は見られない | B—人手不足を補う勤労奉仕であり、Iより前 |

問 2 下線部分なぜ陶器のアイロンを使っていたのだろうかという疑問に対する回答と、下線部分  
<sup>(a)</sup>  
 分同じ時期の様子を示した図版の組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一  
<sup>(b)</sup>  
 つ選べ。解答番号は 28 。

回 答

- X 輸入や占領地からの輸送が困難となり、金属が貴重なものとなっていたから。
- Y 造船業や海運業の分野でかつてない好況となり、「船成金」などが生まれたから。

図 版

甲



乙



① X—甲

② X—乙

③ Y—甲

④ Y—乙



7

次の文を読んでⅠ・Ⅱについて、後にある各問いに答えよ。

Ⅰは、戦前戦後を通じた国民の娯楽であった映画に関する統計の一部である。戦後の日本では、物資の不足もあって映画製作は一時的に停滞した。また、時代劇や戦争映画が禁止される政治的な要因もあった。1950年代になると、『ひめゆりの塔』、『原爆の子』など戦争を背景とした映画が次々に公開され、50年代は日本映画にとって活況の時代となった。しかし、60年代からはテレビの普及もあって、映画の観客数は急激に減少し始めた。

円谷英二は、特殊撮影技術の専門家である。円谷の名声を高めたのは、映画を通じた国民思想統制を狙う海軍省の命で作成された映画『ハワイ・マレー沖海戦』である。この映画は大規模なミニチュアセットで再現された真珠湾と航空機が大きな反響を呼んだ。彼は、戦後怪獣映画などで人気を博し、映画やテレビで多くの作品を発表した。Ⅱは映画『ゴジラ』の広告だ。広告中の **A** の文字からは、映画公開の年に発生した、第五福竜丸事件も想起させられる。

現在海外でも高い評価を受けている日本のアニメーションに大きな影響を与えたのは、漫画家の手塚治虫である。1952年から1968年にわたって雑誌に連載された『鉄腕アトム』は、アニメ化されて人気を博した。アトムは日本が **B** を迎えていたこともあって、人々に科学技術の進歩への夢を抱かせ、アニメーション映画の発展に大きく貢献した。1990年代には、宮崎駿がアニメ映画『もののけ姫』で文明と自然の葛藤を描き、当時の日本映画の興行記録を塗り替えた。

## I

## 映画関係統計

西暦	映画館数	常設館入場者数	邦画封切本数	洋画封切本数
1931	1,449	16,471	525	258
1932	1,460	17,734	482	244
1933	1,498	17,824	472	248
1934	1,538	19,892	417	299
1935	1,586	18,492	446	302
1936	1,627	20,265	520	350
1937	1,749	24,561	562	286
1938	1,875	30,629	534	158
1939	2,018	37,573	531	134
1940	2,363	40,503	500	52
1941	2,472	43,833	250	39
1942	2,410	51,009	96	8
1943	1,986	34,226	63	5
1944	1,829	31,507	46	8
1945	845	データなし	35	1
1946	1,376	73,274	67	41
1947	1,505	75,608	97	73
1948	2,003	75,866	123	114
1949	2,374	78,676	156	153

(注)入場者数は単位万人  
古川隆久『戦時下の日本映画』より作成



映画『ゴジラ』のポスター

問 1   に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は  。

- ① A—水 爆 B—石油危機      ② A—保安隊 B—石油危機  
 ③ A—水 爆 B—高度経済成長      ④ A—保安隊 B—高度経済成長

問 2 I から読み取れることとして適切でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。  
 解答番号は  。

- ① 日中開戦後、40年代はじめにかけて常設館入場者数は増加した。  
 ② 日米開戦後も、戦争中を通じて洋画の封切本数は減少していない。  
 ③ 日本国憲法が公布された年には、常設館入場者数が以前の記録を更新した。  
 ④ 終戦の年の映画封切本数が最も少なくなっている。

問 3 下線部分映画『ハワイ・マレー沖海戦』の題材とされた戦争について述べた文の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 31。

- ア 日本はミッドウェー海戦をきっかけに、アメリカに制空権を奪われていった。
- イ 李鴻章の整備した艦隊と交戦して撃破し、下関で講和条約を結ぶにいたった。
- ウ 日本の連合艦隊が、ロシアのバルチック艦隊に日本海海戦で壊滅的打撃を与えた。
- エ 「大東亜共栄圏」の結束を示すため、戦争中に大東亜会議が開催された。

- ① アーウ                      ② アーエ                      ③ イーウ                      ④ イーエ

問 4 下線部分文明と自然の葛藤<sup>(a)</sup>に関連して、環境問題について述べたア～ウを年代の古い順に正しく並べたものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 32。

- ア 投機的なバブル経済を背景とした、リゾート地の乱開発が問題となった。
- イ 栃木県の足尾銅山の鉱毒により、渡良瀬川下流域の農民や漁民に被害が出た。
- ウ 水俣病をはじめとする公害訴訟がおき、公害対策基本法が制定された。

- ① ア→イ→ウ                      ② ア→ウ→イ                      ③ イ→ア→ウ                      ④ イ→ウ→ア

8 日本史の授業で、「砂糖の歴史」というテーマで、生徒X、Y、Zがそれぞれ研究発表を行った。生徒X、Y、Zそれぞれの研究発表について、後にある各問いに答えよ。

Xの研究発表

私は、砂糖の歴史と聞いて、芸術鑑賞教室で観た古典芸能を思い出しました。それは、南北朝時代から室町時代に発達した滑稽なしぐさやふりを交えた庶民劇で **A** といいます。観た演目は「<sup>ぶす</sup>附子」です。大名から、「桶の中には附子という猛毒が入っているから、決してふたをあけてはならない」と言い置かれた家来二人が、中味が砂糖と気づき、みな食べてしまいます。この後、家来達は、大名が大事にしていた水墨画や台付天目(台のついた茶碗)を壊し、帰宅した大名に「大切な宝物を壊してしまい申し訳ないので、附子を食べて死のうと思ったが死ねなかった」と言い訳します。この喜劇の笑いは、当時の砂糖が **B** でなければ成立しないと考えられます。

さて、日本の砂糖の歴史はどこまでさかのぼることができるか本で調べると、正倉院宝物の中に砂糖があった、という記述を見つけました。そこで、宮内庁のホームページで調べると、正倉院宝物のリストの一つに、「<sup>しゃとう</sup>蔗糖」の文字がありました。サトウキビのことを「<sup>かんしゃ</sup>甘蔗」といいますから、これは砂糖のことでしょう。そのリストの巻首部分と蔗糖が記されている一部分をIのようにまとめました。蔗糖とともに記されている他の物品名は聞いたことの無い物ばかりだったので、調べてIに付け加えておきました。この時代、砂糖はこれらの物品と同様に扱われていたのです。だから、このリストの末尾に、「もし、**C** があれば、<sup>そうごう</sup>僧綱(僧尼の監督、教導にあたる僧官)に知らせた後、用いることを許す」とあることもうなずけます。

I

<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 25%;">胡 同 律</td> <td style="text-align: center; width: 25%;">紫 雪</td> <td style="text-align: center; width: 25%;">蔗 糖</td> <td style="text-align: center; width: 25%;">芒 消</td> <td style="text-align: center;">・ ・ ・ ・</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">廿 四 斤</td> <td style="text-align: center;">十 三 斤 十 五 兩</td> <td style="text-align: center;">二 斤 十 二 兩 三 分</td> <td style="text-align: center;">一 百 廿 七 斤 八 兩</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">・ ・ ・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	胡 同 律	紫 雪	蔗 糖	芒 消	・ ・ ・ ・	廿 四 斤	十 三 斤 十 五 兩	二 斤 十 二 兩 三 分	一 百 廿 七 斤 八 兩		・ ・ ・					<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 50%;">合 六 十 種 ・ ・ ・</td> <td style="text-align: center; width: 50%;">奉 盧 舎 那 仏 種 々 薬</td> </tr> </table>	合 六 十 種 ・ ・ ・	奉 盧 舎 那 仏 種 々 薬	<p>左の正倉院文書に記された物品について</p> <p><sup>ぼう</sup>芒 <sup>しょう</sup>消：含水硫酸マグネシウムの結晶。 急性熱性疾患に用いられる。</p> <p><sup>しゃ</sup>蔗 <sup>とう</sup>糖：砂糖。</p> <p><sup>し</sup>紫 <sup>せつ</sup>雪：数種類の鉱物を配合した物。 排泄を促し、解熱作用がある。</p> <p><sup>こどうりつ</sup>胡同律：樹脂の乾燥物。おう吐を促す。</p>
胡 同 律	紫 雪	蔗 糖	芒 消	・ ・ ・ ・															
廿 四 斤	十 三 斤 十 五 兩	二 斤 十 二 兩 三 分	一 百 廿 七 斤 八 兩																
・ ・ ・																			
合 六 十 種 ・ ・ ・	奉 盧 舎 那 仏 種 々 薬																		
<p>(注)斤、兩、分は当時の重量の単位。正倉院宝物の実測調査によれば1斤は約600g～670g。1斤は16兩、1兩は4分。</p>																			

問 1   に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、次の①～

④のうちから一つ選べ。解答番号は  。

- ① A—風流踊 B—観賞して楽しむ物
- ② A—風流踊 B—とても珍しい貴重な物
- ③ A—狂言 B—観賞して楽しむ物
- ④ A—狂言 B—とても珍しい貴重な物

問 2  に入る文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ

選べ。解答番号は  。

- ① 飢饉で緊急に食料支援をする必要
- ② 病苦によって必要とする者
- ③ 大規模な御霊会を催すこと
- ④ 新羅との関係が緊張する場合

B

## Yの研究発表

私は砂糖の歴史と聞いて、甘いお菓子を連想しました。近世初期の **D** の出版物の中に日常的日本語をローマ字で収録し、ポルトガル語で説明した辞典があり、「Sato Mangiu(お湯で蒸したある種の小さなパンで黒砂糖を入れて作ったもの)」「Sato Yocan(豆と砂糖で作る甘い板菓子)」など、砂糖を使ったお菓子に関する語も見えます。

その後、さらに砂糖を使った菓子は普及していきます。例えば、コンペイトウについて、『日本永代蔵』に、「南京<sup>なんきん</sup>から渡ってきた菓子である金米糖<sup>こんべいとう</sup>が安価になったのは、長崎で開発された製法が、世間に広まったからである」と書かれています。著者の井原西鶴は、コンペイトウを **E** から伝わったと記しています。この本が刊行された時期、砂糖の多くは **F** ため、砂糖を入手しやすい長崎がコンペイトウの製法でも先進地だったであろうことはうなずけます。

一方で、ほぼ同時期に宮崎安貞は、『農業全書』の中で、「サトウキビを我が国で栽培すれば、海辺の暖かい地域では必ず成長するだろうから、みだりに我が国の財を外国に取られないようにする対策の一つになるだろう」と述べています。

19世紀初期になると、砂糖の国産化が進み、砂糖を多く使ったお菓子が広く各地で作られるようになります。Ⅱは、1830年から1832年、国産砂糖(国内で生産されたサトウキビから製造された砂糖)のシェア(市場占有率)を藩別に表にしたものです。Ⅲは、最大のシェアを持つ薩摩藩が扱った砂糖の地域別内訳を示した表です。

### Ⅱ 1830年から1832年の国産砂糖のシェア(市場占有率)

藩名	市場占有率(%)
薩摩藩	51.1
高松藩	23.8
徳島藩	10.4
その他	14.7

(注)高松藩は現在の香川県東部、徳島藩は現在の徳島県と兵庫県淡路島。

### Ⅲ 1830年から1832年に薩摩藩が扱った砂糖の地域別内訳

地域名	薩摩藩が扱った砂糖に占める割合(%)
奄美諸島産の砂糖	72.7
琉球産の砂糖	22.7
種子島産の砂糖	0.8
その他	3.8

(鬼頭宏「日本における甘味社会の成立－前近代の砂糖供給－」上智経済論集より)

問 3   に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は  。

- ① D—慶長版本(慶長勅版) E—ヨーロッパ
- ② D—慶長版本(慶長勅版) E—中国
- ③ D—天草版(キリシタン版) E—ヨーロッパ
- ④ D—天草版(キリシタン版) E—中国

問 4  に入る文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は  。

- ① 倭寇によってもたらされていた
- ② 朱印船貿易によってもたらされていた
- ③ オランダ、中国からの輸入に依存していた
- ④ ポルトガルからの輸入に依存していた

問 5 Yの研究発表とⅡ、Ⅲから、1830年から1832年の日本の砂糖生産について読み取れることとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は  。

- ① 宮崎安貞が生産に適すと考えた条件の地域が主産地ではない。
- ② 奄美諸島が日本最大の生産地であった。
- ③ 大消費地である江戸近郊で生産が盛んだった。
- ④ 幕府の直轄地において生産が振興されていた。

## Zの研究発表

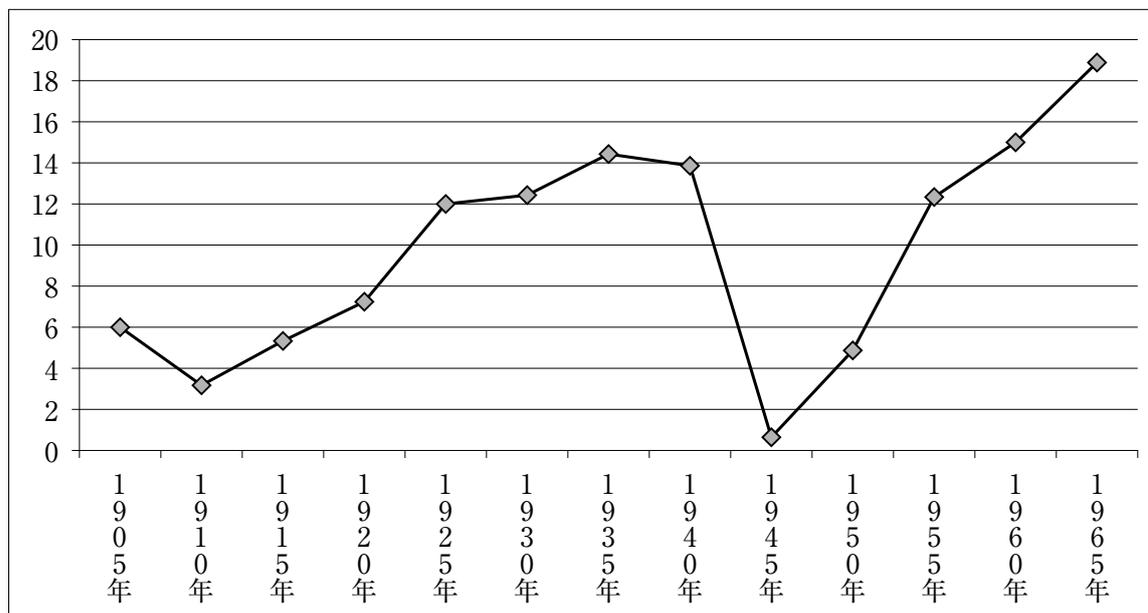
私は、砂糖の歴史と聞いて、私の祖母が「私が小学校に入学したころから、砂糖や甘い物が少なくなり、小学校在学中は甘いものがほとんど無かった」とよく言っていたことを思い出しました。そこで、近代以降の日本人一人あたりの砂糖の年間消費量の変遷を調べてみることにしました。

明治政府は、明治時代初期から欧米の近代的機械精糖の取り入れなどに力を入れました。これは、当時の砂糖の国内消費量の約65%を輸入砂糖が占めており、**G**の一因となっていたからです。しかし、日本の製糖業の不振は続きます。これは、原料糖(注)を国内に求めたことが理由で、ジャワ島産など安い外国産の原料糖を輸入し、精製するようになると、日本の近代的機械製糖業は確立していきます。1901年には日本の精製糖生産量は、輸入量を上回ります。

一方、日清戦争後、日本は領有した台湾において、サトウキビを栽培し原料糖を生産することを産業の中心にすえようとしています。政府は、1911年からジャワ島産など外国産の原料糖の輸入関税を大幅に**H**などして、台湾糖業を支援し、軌道に乗せます。このころからは、日本の一人あたりの砂糖消費量の推移の資料があります。IVは、この資料から作成したグラフです。

(注)精製糖(精製工程を経た化学的に純粋なショ糖)の原料となる段階の砂糖で、その多くは粗糖と呼ばれる。

## IV 日本人一人あたりの砂糖の年間消費量(単位：キログラム)の変遷



【砂糖統計年鑑】(日本精糖工業会)より作成

問 6   に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は  。

- ① G—貿易赤字 H—引き上げる      ② G—貿易赤字 H—引き下げる  
③ G—円高不況 H—引き上げる      ④ G—円高不況 H—引き下げる

問 7 下線部分私の祖母が、生まれた時期として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は  。

- ① 治安警察法が制定されたころ  
② ジ(シ)ーメンス事件が起きたころ  
③ 日本が国際連盟を脱退したころ  
④ 自衛隊が発足したころ

問 8 Zの研究発表とⅣから、日本人一人あたりの砂糖の年間消費量について読み取れることとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は  。

- ① 明治時代から大正時代にかけて、一貫して増加している。  
② 太平洋戦争前の一時期、輸入砂糖が増えたために増加している。  
③ 昭和恐慌の時期には大きく落ち込んでいる。  
④ 太平洋戦争後、OECD加盟のころには、太平洋戦争前の水準を上回った。

